

i-Road Exporter

導入の手引き

第3版

2025/04/01

JBCC 株式会社

■ 目次

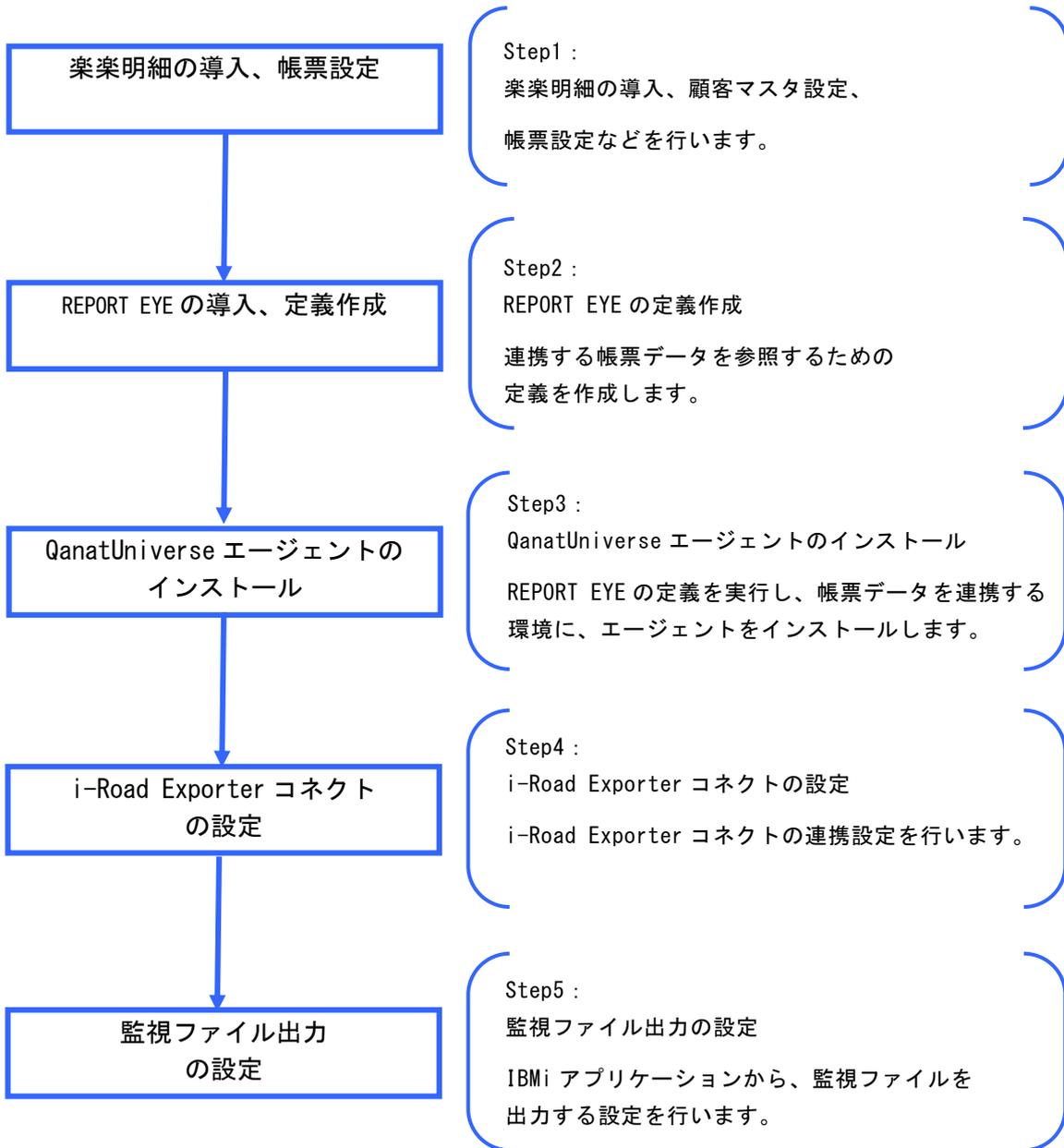
導入について	1
導入の手順	1
第1章 楽楽明細の導入、各種設定 [お客様]	2
第2章 REPORT EYE の導入、定義作成 [お客様]	3
2.1 REPORT EYE の導入、WAS の設定	3
2.2 定義作成	3
第3章 QanatUniverse エージェントのインストール [お客様]	4
3.1 インストール	4
3.2 QanatUniverse エージェントの設定	4
第4章 i-Road Exporter コネクトの設定 [JBCC]	6
4.1 i-Road Exporter コネクト (QanatUniverse) の設定	6
第5章 監視ファイル出力の設定 [お客様]	7
5.1 監視ファイル出力の設定	7
第6章 i-Road Exporter コネクト利用手順	8
6.1 利用の流れ	8

導入について

※ 以降、『i-Road Exporter データ定義』を『REPORT EYE』と記載

導入の手順

導入手順は次のような流れになります。



第1章 楽楽明細の導入、各種設定 [お客様]

『楽楽明細』の導入に際しては株式会社ラクス様のサポートに従い設定を進めます。

本環境の納品メール後、ラクスのサポート担当よりお客様にご連絡が参ります。
具体的な設定につきましては、サポートに従い実施してください。

- サポート営業時間 : 平日 9:30~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)
- マニュアルサイト : <https://support.rakurakumeisai.jp/>

△『楽楽明細』の設定後、以下の情報が必要となりますため、
その旨をサポートにお伝えいただき、控えた情報を JBCC までご連絡ください。
i-Road Exporter の設定で使用します。

- 楽楽明細の URL
- API トークン

第2章 REPORT EYE の導入、定義作成 [お客様]

『REPORT EYE』の導入、定義作成を行います。

2.1 REPORT EYE の導入、WAS の設定

『REPORT EYE』を導入します。

導入手順については、以下のマニュアルを参照ください。

「REPORT EYE 導入の手引き」IBM i/WebSphere 8 /9 版

「第2章 導入にあたって」の「2.1 導入の手順」の手順に沿って導入してください。

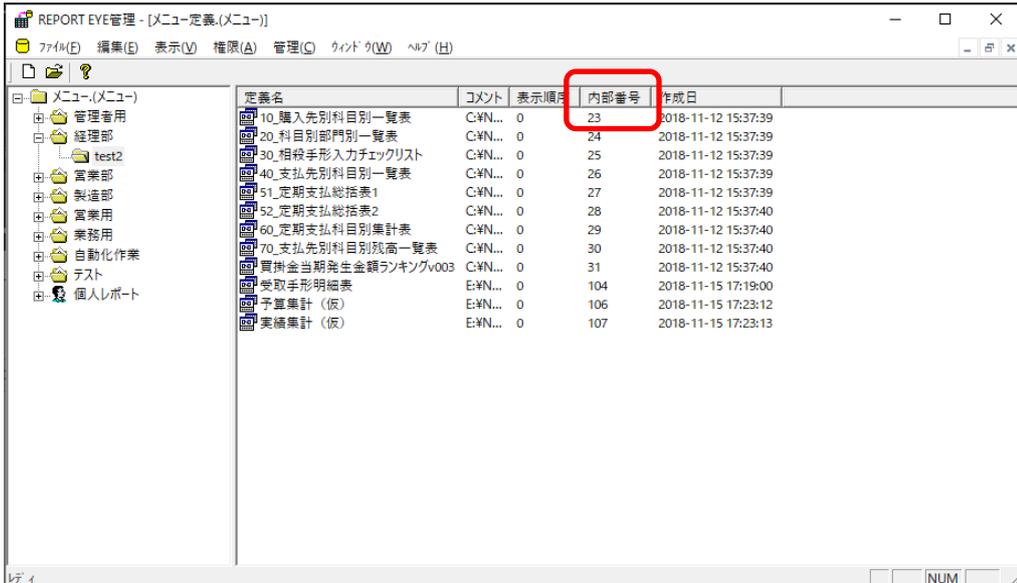
「2.1 導入の手順」の(※)が付いた必須項目以外は省略可能です。

2.2 定義作成

『REPORT EYE』管理ツールで、帳票データを参照する定義を作成します。
表示項目は、「第1章 楽楽明細の設定」の「1.2 帳票の設定」で行った、
「**帳票 GSV の取込フォーマット設定**」の項目と同じ順で設定してください。

△ 『REPORT EYE』の設定後、以下の情報を JBCG までご連絡ください。
i-Road Exporter の設定で使用します。

- REPORT EYE の URL
- 定義 ID **※定義 ID とは、『REPORT EYE 管理ツール』メニュー定義の照会定義一覧の「内部番号」になります。**



定義名	コメント	表示順序	内部番号	作成日
10 購入先別科目別一覧表	C*N...	0	23	2018-11-12 15:37:39
20 科目別部門別一覧表	C*N...	0	24	2018-11-12 15:37:39
30 相殺手形入力チェックリスト	C*N...	0	25	2018-11-12 15:37:39
40 支払先別科目別一覧表	C*N...	0	26	2018-11-12 15:37:39
51 定期支払総括表1	C*N...	0	27	2018-11-12 15:37:39
52 定期支払総括表2	C*N...	0	28	2018-11-12 15:37:40
60 定期支払科目別集計表	C*N...	0	29	2018-11-12 15:37:40
70 支払先別科目別残高一覧表	C*N...	0	30	2018-11-12 15:37:40
買掛金当期発生金額ランキングv003	C*N...	0	31	2018-11-12 15:37:40
受取手形明細表	E*N...	0	104	2018-11-15 17:19:00
予算集計 (仮)	E*N...	0	106	2018-11-15 17:23:12
実績集計 (仮)	E*N...	0	107	2018-11-15 17:23:13

第3章 QanatUniverse エージェントのインストール [お客様]

『QanatUniverse エージェント』をダウンロードし、インストールを行います。

3.1 インストール

『QanatUniverse エージェント』の「導入の手引き」に従って、インストールを行います。

3.2 QanatUniverse エージェントの設定

『QanatUniverse エージェント』の設定を行います。

1. Windows メニューより、「QanatUniverse エージェント設定ツール」を起動します。
2. 「QanatUniverse エージェント設定ツール」で、以下の設定を行い、「テスト接続」ボタンをクリックします。テスト接続が成功するか、ご確認ください。

エージェント ID :	配布された「エージェント ID」を設定します
エージェントキー :	配布された「エージェントキー」を設定します
プロキシホスト名 :	外部ネットワークアクセスにプロキシを利用する環境の場合、プロキシの設定をします。
プロキシポート番号 :	外部ネットワークアクセスにプロキシを利用する環境の場合、プロキシの設定をします。

Qanat Universe エージェント の設定

サービスへの接続設定 (gate)

エージェントID (agentId): [Redacted] [既定値]

エージェントキー (agentKey): [Redacted] [既定値]

プロキシホスト名 (proxyHost): [] [既定値]

プロキシポート番号 (proxyPort): [] [既定値]

連携対象とするローカルファイルの設定

ファイルの配置場所: C:_qanatuniverse%_qua%\userdata% [参照]

連携対象とするローカルWebサーバーの設定

接続を許可するローカルWebサーバーのURL: 全て 指定したURLのみ

http://172.16.0.104:10000/cvbi

[テスト接続]

[適用]

3. 「QanatUniverse エージェント設定ツール」で、以下の設定を行い、「適用」ボタンをクリックします。

連携対象とするローカル Web サーバの URL :
「指定した URL のみ」を指定し、
REPORT EYE の URL を入力します。

Qanat Universe

Qanat Universe エージェントの設定

サービスへの接続設定 (gate)

エージェントID (agentId):

エージェントキー (agentKey):

プロキシホスト名 (proxyHost):

プロキシポート番号 (proxyPort):

連携対象とするローカルファイルの設定

ファイルの配置場所: C:¥_qanatuniverse¥_qua¥userdata¥

連携対象とするローカルWebサーバの設定

接続を許可するローカルWebサーバのURL: 全て 指定したURLのみ

第4章 i-Road Exporter コネクトの設定 [JBCC]

『i-Road Exporter コネクト』の設定を行います。

4.1 i-Road Exporter コネクト (QanatUniverse) の設定

「第1章 楽楽明細の導入、帳票設定」、「第2章 REPORT EYE の導入、定義作成」の情報を元に、『i-Road Exporter コネクト』の設定を行います。

△ 設定として、以下の情報が必要となります。

以下の内容を記載し、「申込書(i-Road Exporter データ定義/コネクト ユーザー登録書)」をJBCC 株式会社まで送付ください。

- 楽楽明細の URL
- API トークン
- 承認フラグ
- 承認フローID
- REPORT EYE の URL

第 5 章 監視ファイル出力の設定 [お客様]

『QanatUniverse エージェント』をインストールした PC/サーバに、監視ファイルを出力するための設定を行います。

5.1 監視ファイル出力の設定

「第 3 章 QanatUniverse エージェントのインストール」を行った PC/サーバの、QanatUniverse エージェントの監視フォルダに、以下のファイルを出力する設定をします。

ファイル名 : iRoadExporterStart_{定義 ID}_{帳票種別 ID}.txt

{定義 ID} : 連携データを取得する『REPORT EYE』の定義 ID

{帳票種別 ID} : 楽楽明細へ取り込む際の『楽楽明細』の帳票種別 ID

例) 定義 ID が 11、帳票種別 ID が 2 の場合、
iRoadExporterStart_11_2.txt

例) STRPCCMD で、以下のコマンドを実行

```
echo 1 > C:\¥_qanatuniverse¥_qua¥userdata¥iRoadExporterStart_11_2.txt
```

△ 「第 4 章 i-Road Exporter コネクトの設定」が完了後、監視フォルダに、「iRoadExporterStart_{定義 ID}_{帳票種別 ID}.txt」ファイルが配置されると、『i-Road Exporter コネクト』が動作し、『REPORT EYE』の定義を実行、取得データを『楽楽明細』へ連携します。

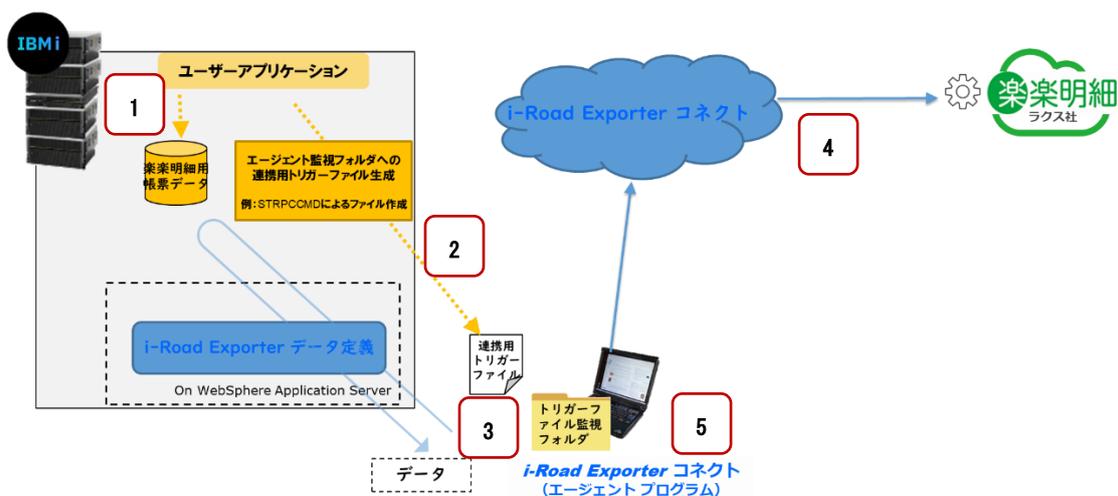
△ 連携後の状況は、『楽楽明細』の「帳票データ」タブ、[帳票データ取込一覧] > [取込履歴]より、確認ができます。

第 6 章 i-Road Exporter コネクト利用手順

第 1 章から第 5 章の設定が完了後に、『i-Road Exporter コネクト』が以下の手順で利用可能となります。

6.1 利用の流れ

以下の流れで利用します。



1. 『楽楽明細』に連携する帳票データを、REPORT EYE の定義のデータ参照先に作成
2. 監視ファイル出力の操作を行います
3. 2 によって、QanatUniverse エージェントの監視フォルダに、「iRoadExporterStart_{定義 ID}_{帳票種別 ID}.txt」ファイルが生成後の 1 分以内に、『i-Road Exporter コネクト』が動作します
4. 『i-Road Exporter コネクト』により、REPORT EYE の定義を実行、取得した帳票データを『楽楽明細』に連携します
5. 連携後、QanatUniverse エージェントの監視フォルダの「iRoadExporterStart_{定義 ID}_{帳票種別 ID}.txt」は削除され、「logs」フォルダに、連携したデータ「iRoadExporterCSV_*****.csv」ファイルと、連携ログ「iRoadExporterLog_*****.log」ファイルが生成されます

i-Road Exporter 導入の手引き

2025 年 04 月 01 日 第 3 版発行